製品ライフサイクルと環境負荷

GRI 301-1, 302-1, 303-3, 303-4, 303-5, 305-1, 305-2, 305-3, 305-7

花王では製品のライフサイクル全体を通じて資源を無駄なく使用すると共に、さらなる省資源・省エネルギーを実現する技術を追求しています。

2023年の事業活動と環境負荷

INPUT		OUTPUT
●原材料※1 805.3千t ●包装容器※2 244.9千t ●水使用量※6 295.1百万㎥	原材料購入	●CO_2排出量☑※6 3,891.9千t
●エネルギー使用量 16.0PJ （うち太陽光発電 13,188.5MWh） ●水使用量 15.9百万㎥	開発・生産※3（総生産量3,291.3千t）	●温室効果ガス排出量 671.3千t-CO_2e ●NO_x排出量 365.0t ●SO_x排出量 36.8t ●VOC排出量※1 5.0t ●排水量 10.2百万㎥ ●COD汚濁負荷量 206.0t ●廃棄物等排出量 85.2千t ●最終埋立処分量 7.2千t
●エネルギー使用量 0.7PJ （うち太陽光発電 459.5MWh） ●水使用量 0.3百万㎥	物流・販売※4（施設及び営業車）	●温室効果ガス排出量 17.2千t-CO_2e ●排水量 0.3百万㎥ ●廃棄物等排出量 29.5千t ●最終埋立処分量 0.2千t
●エネルギー使用量 1.5PJ	輸送	●CO_2排出量☑※7 234.0千t ●NO_x排出量※1 860.9t ●SO_x排出量※1 199.2t
●水使用量※8 2,532.0百万㎥	使用※5	●CO_2排出量☑※8 3,955.6千t ●排水量 2,532.0百万㎥
●水使用量※8 22.8百万㎥	廃棄・リサイクル※5	●CO_2排出量☑※8 1,324.3千t ●排水量 22.8百万㎥ ●包装容器排出量※2 244.9千t 段ボール 144.9千t 紙 8.3千t プラスチック 85.0千t 金属 4.3千t ガラス 0.8千t その他 1.6千t

集計範囲

※1 日本花王グループ
※2 生活者向け製品を対象として、製品1個当たりの包装容器使用量に当該年度の販売数量を乗じて算定しています。
※3 全生産拠点
※4 全非生産拠点（研修所、寮等を含む）
※5 生活者向け製品
※6 生活者向け製品及び産業界向け製品を対象として、製品1個当たりの原材料製造段階（自社グループの製造工程除く）のCO_2排出量及び水使用量に当該年度の販売数量を乗じて算出しています。
※7 集計対象は生活者向け製品及び産業界向け製品。日本は省エネ法に基づいて算定しています。海外は日本の実績に基づき算定した製品1個当たりの輸送時CO_2排出量と各国での販売数量と各国内での推計輸送距離を乗じて算定しています。
※8 生活者向け製品を対象として、製品1個当たりの使用時CO_2排出量及び水使用量若しくは製品1個当たりの廃棄時CO_2排出量及び水使用量に当該年度の販売数量を乗じて算定しています。

製品ライフサイクルと環境負荷 GRI 417-1

INPUT

●原材料
製品を製造するために直接使用した原材料の量（ただし、包装容器材料、燃料などは含まない）

●包装容器
販売された製品に使用した包装容器の量（段ボールを含む）

●エネルギー使用量［開発・生産］
生産拠点で使用したすべてのエネルギー量（太陽光発電量の集計対象は自家発電分のみ）

●エネルギー使用量［物流・販売（施設及び営業車）］
非生産拠点及び自動車（営業用）で使用したエネルギー量（太陽光発電量の集計対象は自家発電分のみ）

●エネルギー使用量［輸送］
生活者向け製品と工業用製品及び原材料その他の輸送で使用したエネルギー量

●水使用量
工業用水、市水、地下水、雨水の使用量

OUTPUT

●温室効果ガス排出量
拠点から排出された温室効果ガス（京都議定書で定められた7ガス）の量
（CO_2換算値・スコープ1+2）

●CO_2排出量
原材料の製造、エネルギーの使用と成分分解等に伴い排出した量

●NOx排出量
各ばい煙発生施設及び輸送からの排出量

●SOx排出量
各ばい煙発生施設及び輸送からの排出量

●VOC排出量
生産拠点からの大気へのVOC（揮発性有機化合物）排出量

●排水量
各拠点からの排水量と生活者向け製品の使用に伴い排出された水の量

●COD汚濁負荷量
排水中のCOD汚濁負荷量

●廃棄物等排出量、最終埋立処分量
各拠点において発生した廃棄物等のうち、廃棄物、再資源化物として外部に処理委託あるいは売却した量及び最終埋立処分した量

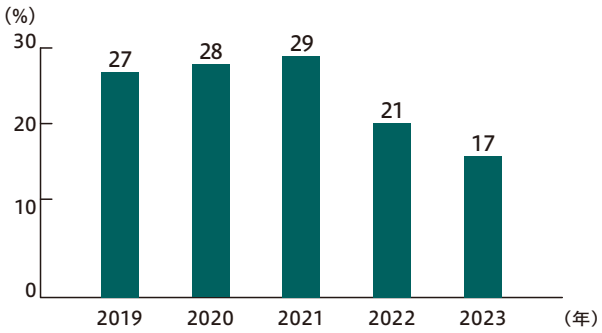
●包装容器排出量
販売された製品に使用した包装容器の量（段ボールを含む）

“いっしょにecoマーク”認定製品

花王は、独自の厳しい認定基準をクリアした環境負荷の少ない製品に“いっしょにeco”マークを表示できる認定を実施しています。

2023年の“いっしょにeco”マーク表示製品の売上比率（日本国内消費者向け製品）は17%となり、前年より減少しました。

“いっしょにeco”マーク認定製品売上比率（国内生活者向け製品）



Web “いっしょにeco”マークの認定基準
https://www.kao.com/jp/sustainability/klp/policy/eco-products-policy/

“いっしょにeco”マーク認定製品一覧
https://www.kao.com/jp/sustainability/klp/policy/eco-products-policy/eco-together-products/